

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年8月4日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アデレード大学 現地言語: The University of Adelaide
留学期間	2017年2月～2017年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年7月5日
明治大学卒業予定年	2019年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月下旬～6月上旬 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	20771人
創立年	1874年

留学費用項目	現地通貨 (オーストラリアドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	週390×半年	約70万円	
食費	5000	約50万円	
図書費	150	約15000円	
学用品費	350	約3万円	
教養娯楽費	約6000	約55万円	オーストラリア国内旅行、NZ旅行
被服費	350	約3万円	半年なので日本から持っていったため
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:OSHCと明治大学指定の保険
渡航旅費	約1600	約15万円	
雑費	1200	約10万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

## 渡航関連

**渡航経路:** Haneda- Sydney - Adelaide, Adelaide- Melbourne- Narita

渡航費用

チケットの種類	Qantas
往路	7 万
復路	8 万
合計	15 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

オーストラリアで一番大きいカンタス航空でオーストラリアに入国、日本に帰国しました。オーストラリア国内用のガイドブックは地球の歩き方 2016-2017 を持ってい参考になりました。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

Urbanest(民間企業が経営する学生寮)住人のほとんどがアデレード大学の学生でしたが、中には南オーストラリア大学の学生もいました。

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

アデレード大学から送られてきたメールで宣伝されていたもの、大学のホームページの accommodation 関連を参考にインターネットで評判などを調べました。アデレード大学の職員の人が明治に来ていて話を聞ける機会があり、その時にインターネットでみて気になった点を質問するのも含め相談し決めました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

アデレード大学のホームページに載っている中では一番大学に近く、徒歩 10 分で大学まで行けます。街の大きな通りも徒歩 5 分だったのでも立地はいいです。10 階以上あるビルに 4 人、または 6 人のアパートメントが 1 フロアにいくつか入っていました。キッチンは共同で、私は一人部屋にバスルームがついている 6 人のアパートメントにしました。(大学を通して申し込むと 6 人アパートメントしか選択肢はないが、1 人部屋か 2 人部屋が選べると思います。)私は大学から来たメールでそのまま大学を通して契約してしまい、シングルベッドでしたが、他のアパートメントのいいわく、大学を通さず寮に直接連絡すると(契約書をただ大学ではなく寮に送るだけ)同じ金額でダブルベッドの広い部屋が借りられるそうです。周りのどの寮と比べても一番家賃は高いですが立地、設備のみを考えるなら一番オススメです。でもコストを考えると大学が直接経営している village のがいいと思います。village も友達が住んでいたので行きましたが設備も結構良く、静かでした。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に大きな問題はありませんでしたが、質問があった時は現地の友達に聞いたり Ask Adelaide で聞きました。他にも留学生のためのサポートをしてくれるところもありますが、もし何かあればまず Ask Adelaide に行くといいと思います。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

アデレードは比較的治安も良かったですが、大学や共有スペースなどで少し席を外すだけの時でも貴重品は必ず身につけておくようにしていました。危険地域情報は領事館のメールを確認したりスマホのニュースアプリでアデレードやオーストラリアを登録しておいたりしました。自分自身がトラブルに巻き込まれることはありませんでしたが、トラブルが起きて警察を呼んでいる場面を見かけることはあったので、常に周りの状況に気を配ることが大切だと思います。

<p>4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>寮のインターネットは月 20GB しかもらえず 2 回ぐらい追加で購入しなくてはならなかったので、urbanest はおすすめしません。(他の寮はインターネットの使用制限ない or あっても 100GB)スマホは日本からフリーSIM のスマホを持っていったので、現地で SIM カードだけ購入し使っていましたが特に問題もなかったです。</p>
<p>5)現地での資金調達はどうに行いましたか？(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>現地で銀行口座を開けましたが、出国前に口座にお金を多めに預けておいて基本的には日本のクレジットカードを使って、日本の口座からお金が引き落とされるようにしていました。基本的にどこでもクレジットカードが使えるのでそんなに現金は使わずにも暮らせます。周りには銀行口座を開かずクレジットカードと手で持ってきた現金だけで半年ぶつうに暮らしている留学生もたくさんいました。</p>
<p>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>化粧品やケア用品等持ち込みが出来るもので留学中も使いたいものがあれば。(大きい街だと日本のものがほぼ揃っていますが普段使っているものがあるとは限らないので…)</p>
<p>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)</p>
<h2>卒業後の進路について</h2>
<p>1) 進路</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>就職    <input type="checkbox"/>進学    <input type="checkbox"/>未定    <input type="checkbox"/>その他:</p>
<p>2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</p>
<p>3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。</p>
<p>4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</p>
<p>5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。</p>
<p>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。</p>

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	1st semester 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週講義 2 時間、チュートリアル 1 時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Pam Papadelos
授業内容	社会学者や社会学の theory を中心に学びます。オーストラリアの社会について理解を深められるのはもちろん、オーストラリアの社会が抱えている問題についても学ぶことが出来ます。チュートリアルでは前週の講義の内容を扱い、それに加え読んできた資料(課題)も扱います。
試験・課題など	毎週 reading の課題が出ます。試験はオンラインで学期末に一度、レポートは2つありました。
感想を自由記入	社会学についてあまり専門的に学んだ事がなく授業が始まるまでは心配でしたが、オーストラリアの社会について学ぶ事が出来てよかったです。チュートリアルは少人数グループでディスカッションを毎回していたので、オーストラリア社会についてだけでなく、他の国からの交換留学生を通して他国の社会についても学ぶことが出来ました。それと同時に日本の社会についても紹介することが出来ました。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Negotiating Asia	
科目設置学部・研究科	Asian Studies
履修期間	1st semester 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週に講義 1 時間、チュートリアル 2 時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Gerry Groot
授業内容	中国、日本を中心にアジアについて学びます。アイデンティティや文化についてをメインとして扱っていますが、自身が経験したカルチャーショック等と資料を比較してディスカッションをします。
試験・課題など	毎週 reading あり。映画を観て授業で扱ったトピックを中心にレポートを書くのが2つ、最終エッセイ 2000 字が1つ。
感想を自由記入	授業自体は中国や他のアジアの国の文化について知ることが出来たり他の国からみた日本文化について知ることが出来て面白かったのですが、教授が課題や試験について頻繁に変更する人だったので締め切りや課題の内容についてとても不安に思うことが多々ありました。課題の評価方法についてあまり明確に説明してもらえないのも不安要素の一つで、私は問題ありませんでしたが、同じクラスの中で教授と言い合いになっている人も少なくなく、履修をオススメはしません。



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
German IA	
科目設置学部・研究科	German Studies
履修期間	1st semester 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週にワークショップが4時間(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Judith Wilson
授業内容	ドイツ語のリスニング、リーディング、スピーキング、ライティングを上げる授業で、教科書を使い身の回りのもの、ことをドイツ語で学びます。
試験・課題など	最終試験あり。毎2週間ごとに単語テスト、その単語テストがない週は100文字程度で勉強したトピックについて書く課題あり(毎2週間に1回)。→単語テストと書きの課題提出が毎週交互にある。
感想を自由記入	数年のドイツ在住経験があるのに英語で暮らしていてドイツ語が話せないことがコンプレックスで履修を決めました。単語は知っていて単語を並べて意思表示は出来ていましたが、ドイツ語特有の単語の冠詞を全く知らず読み書き文法が全くといっていいほど出来ず初級クラスでも苦労しました。このクラスでの日本人履修者は私だけでしたが珍しがられ友達がたくさんできました。日本の言語系の授業とは違いとても単元を進めるのが速いです。(具体的には毎週1単元進んで1学期で教科書1冊終わらせました)なのでついていけなくなりそうになった時もありましたが、このクラスの教授は教えることに熱心でとても親切なのでくじけずに頑張ることが出来ました。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	交換留学応募要件を確認、教職をとっているので留学にいても教職はとれるか資格課程事務室に相談、必要な書類の準備、提出
8月～9月	面接
10月～12月	学校内選考追加を受けアデレード大学へ出願(10月)、寮の手配(11月)VISAの申請(12月)
2017年 1月～3月	出国準備、教職をとっているので教職関係のやっておかなければならないことをする(資格課程事務室に報告や教育実習申し込み予定校に連絡等)、2月初旬に出国、2月末から1学期開始
4月～7月	7月帰国、帰国届提出
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	自分の中で一番大きな理由は今しか出来ない経験をしたい、今までしたことのないことをして視野や自分で出来ることを広げたいと思った事です。その他の理由は自分が興味がある多文化共生や第二言語教育について知ることが出来る環境をそなえた国を見つけ、そこで勉強してみたいと思ったからです。もともと海外在住経験があり英語で勉強していた時期があったのですがその時は非英語圏だったので英語圏に留学をして自分の英語力でどこまで出来るのかに挑戦したいと思ったことや、VISAの手配や寮の手配等自分のことは全てを自分で出来る力をつけたいと思ったことも留学を決めた理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のためにした準備で一番大切だと思ったのは、自分が留学する国、留学する大学に前に留学した経験を持つ人の話を聞いてから持っていくものを決めたり授業の履修をもともと日本にまだいる時期から考えておくということです。留学後はやはり日本について聞かれることも多々あるので、日本について勉強しておくこと、日本について英語で説明できるようにしておくことも大切だと思いますが、それに加えて日本料理も出来るようにしておくといいと思います。(お味噌汁や巻き寿司、お好み焼きなど3回以上作りました。)英語に関しては、当たり前ですが授業は英語で行われるので(外国語の授業ではその外国語が使われることもあります)自分が心配だと思う技能(読み、書き、リスニング、スピーキング等)を中心に勉強しておくいいと思います。
この留学先を選んだ理由	オーストラリアを選んだ理由は英語圏の中で第二言語教育が1番充実している国だと聞いたのでどの様な教育を実際行っているのかを自分の目で見てみたかったのと、移民が多く多文化共生社会を持つオーストラリアの社会に興味があったからです。アデレード大学を選んだ理由は静かで治安も良く、勉強する環境が一番整っていると感じたからというのが一番大きな理由です。他の大きな街と比べても州都でありつつ大きすぎない街の規模であるということも選んだ理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気はとても良く、困ったことがあるとすぐに聞きにいける、サポートを得られる環境がありとても充実しています。24時間空いている自習スペースもあるので勉強も好きな時に好きな時間出来ます。学生はフレンドリーな人が多く、まじめな人が多い印象が強いです。
寮の雰囲気	6人のアパートメントでしたが、ほぼ全員出身国が違ったので様々な文化に触れる機会がたくさんありとても楽しかったです。同じ寮の他のアパートメントの人も共通スペースと一緒に勉強したりビリヤードをしたり映画をみたりと寮の共通スペースが充実していたので仲良くなりやすかったです。あまり参加はしませんでした。ほぼ毎日寮が主催するアクティビティがあったので、寮の中で友達は作りやすいと思います。
交友関係	一番最初に友達が出来たのは寮で出会った友達でした。大学の友達はオリエンテーションで隣の席だったので話しかけたり学生証発行の列で前後だった人に話しかけて友達になったりして友達が増えました。積極的に話かけること、明るく話かけやすい雰囲気を作ることが大切だと思います。特に仲良くなった友達は他の国出身でしたが自分と同じ留学生としてアデレードに来ている子で共通点も多く、一緒に旅行に行ったりもしました。日本でも海外でも同じだと思いますが、友達を作るには共通点を見つけるとより仲良くなれると思います。
困ったこと、大変だったこと	オセアニアには旅行でも全く行ったことがなかったので最初は緊張しながら入国しましたが、ホームシックにも全くならず、あまり困ったことや大変だったことはなかったです。
学習内容・勉強について	大学では特定の学部にも所属していなかったので全くジャンルの違う授業を選択でき視野を広げられたかな、と感じたのと、それぞれの授業から違う専門を持つ友人が出来るとも勉強になる話しがきけて良かったと思います。講義は人数が多いですが、チュートリアルやワークショップはークラスに人数制限があり少人数で行われていたので発言をする機会も多く得られてとても充実していました。

課題・試験について	課題量は多く、課題提出時期や試験期間も他の科目とほぼずつかぶっていたので、ものすごく忙しい時期も多々ありました。なので、最初に課題提出の時期や試験期間を調べて勉強のスケジュールをしっかりとてて計画的に勉強し課題をこなしていく必要があると思います。基本的には最初の授業で教授が配るプリントに記載されている課題提出期限がそのまま課題提出期限とされますが、私が履修していた授業の一つでいきなり課題提出期限を変更する教授も中にはいたのでそのような場合も柔軟に計画を立て直せるようにしておくといいと思います。
大学外の活動について	大学内では現地のサークルに参加したりしていましたが、大学を中心に行動していたのであまり大学外での活動は行っていません。でも旅行をする時に一人で旅行する時は学生が多そうな 1 日ツアーにちょっと申し込んでみたりして他の州に住む学生と交流したり、友達が出来ることがありました。
留学を志す人へ	何事も積極的に取り組む姿勢はとても大事だと思います。特に日本を出ると自分の意見ははっきり言わないと相手に伝わらないことが多いです。自分から行動しないと何も始まらず、そのまま時間が経ってしまうので、自分から行動することを心がけましょう。しかし何か困った時や問題が起きた時等は自分で解決しようとするのも大切ですが、勇気をもって周りに相談したり助けを求めることも重要です。留学は新しいことを学ぶ場であることはもちろんですが、今まで自分が行って来た、学んできたことを再認識、周りに伝えられる場でもあります。しっかりと準備をして楽しい留学生活を送ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	授業	授業	授業			家事
	自習	授業	授業	授業			
午後	授業	自習	授業	自習	自習		
	授業	自習	授業	自習	自習		自習
夕刻	課外活動	自習	課外活動	家事	家事		自習
夜	友達とご飯	家事	友達とご飯				自習

